

北九州紫川開発株式会社

I 法人の概要 (平成 26 年 4 月 1 日現在)

- 1 所在地 北九州市小倉北区室町 1-2-11
- 2 設立年月日 平成 11 年 5 月 24 日
- 3 代表者 代表取締役社長 西野 英明 (平成 26 年 6 月 19 日就任)
- 4 資本金 6,225,000 千円
- 5 北九州市の出資金 1,526,400 千円 (出資の割合 24.5%)
- 6 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役員	9 人	0 人	3 人	6 人
常 勤	3 人	0 人	3 人	0 人
非常勤	6 人	0 人	0 人	6 人
職員	4 人	0 人	1 人	3 人

II 平成 25 年度事業実績

当事業年度におけるわが国経済は、政府の経済政策効果もあり、家計や企業マインドが改善し、消費等の内需を中心として景気回復の動きが広がっていった。

このような状況の中、リバーウォーク北九州においては、開業 10 周年を迎え、北九州市制 50 周年事業や紫川周辺催事等との連携も行いながら、それぞれ春、夏、秋、冬に、大型キャンペーンを展開した。その結果、当事業年度のリバーウォーク北九州の来場者数は約 700 万人 (前年比 9.6%減) となった。

また、安全・安心な施設づくりの面では、設備・建物の経年劣化に伴う修繕・更新を行うとともに、引き続き環境・人にやさしい施設づくりにも取り組んでいる。

(1) 事業の経過およびその成果

売上の状況については、総収入は 1,677 百万円 (前期比 97.9%)、そのうち賃貸料収入は 898 百万円 (前期比 95.9%)、管理費収入は 778 百万円 (前期比 100.3%) となった。

収益は、固定資産税、減価償却費の逦減や借入金利見直しによる支払利息の減額等、増加要因もあったが、10 年目の賃貸料の見直しや設備・建物の経年劣化に伴う大規模修繕を行った結果、経常利益は 79 百万円 (前期比 67.6%)、当期純利益は 47 百万円 (前期比 66.7%) となった。

(2) 会社に対処すべき課題

リバーウォーク北九州は、小倉都心部の賑わいの中心地として支持されているが、開業から 10 年が過ぎ、建物・設備面で少しずつではあるが、経年劣化も見受けられるようになった。そのような状況の中で、さらなる安全・安心な施設づくりを目指して、熱源機械設備のオーバーホール等の大規模修繕を引き続き実施し、今後は駐車場施設の設備更新等、さらなる利用者の利便性向上にも取り組んでいく。また、エネルギー問題に対処すべく節電対策を進めるとともに、省エネによる CO₂

排出量削減、環境問題に配慮した廃棄物のリサイクル向上や災害対策なども、引き続き積極的に推進する。

Ⅲ 平成 25 年度決算

貸借対照表

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

(単位：千円)

損益計算書

(自平成 25 年 4 月 1 日
至平成 26 年 3 月 31 日)

(単位：千円)

資産の部		負債の部		科目		金額	
科目	金額	科目	金額				
【流動資産】	【 1,016,002】	【流動負債】	【 674,729】	売上高			
現金・預金	917,143	一年以内返済予定の長期借入金	466,120	貸貸料収入	898,326		
営業未収入金	71,500	未払金	102,260	管理費収入	778,690	1,677,017	
貯蔵品	18	未払費用	413	売上原価		1,501,065	
前払費用	23,625	未払法人税等	16,804	売上総利益		175,952	
繰延税金資産	2,790	未払消費税等	7,634	販売費及び一般管理費		66,934	
未収金	924	預り金	249	営業利益		109,017	
【固定資産】	【 9,867,065】	前受収益	81,247	営業外収益			
(有形固定資産)	(9,859,468)	【固定負債】	【 3,433,601】	受取利息	1,426		
建物	9,071,035	長期借入金	2,380,080	有価証券利息	1,512		
構築物	147,500	繰延税金負債	1,521	雑収入	1,863	4,802	
車両運搬具	6,504	預り敷金	1,052,000	営業外費用			
工具器具備品	97,577	負債合計	4,108,331	支払利息	33,842		
土地	4,743,915	純資産の部		投資有価証券償還損	958	34,800	
減価償却累計額	▲ 4,207,064	【株主資本】	【 6,774,737】	経常利益		79,019	
(無形固定資産)	(811)	(資本金)	(6,225,000)	税引前当期純利益		79,019	
ソフトウェア	395	(利益剰余金)	(549,737)	法人税、住民税及び事業税	33,512		
電話加入権	416	利益準備金	1,245	法人税等調整額	▲ 2,231	31,281	
(投資その他の資産)	(6,784)	その他利益剰余金	548,492	当期純利益		47,738	
長期前払費用	6,784	特別償却準備金	2,834				
		繰越利益剰余金	545,657				
		純資産合計	6,774,737				
資産合計	10,883,068	負債及び純資産合計	10,883,068				

(注) 記載金額は、表示単位未満の端数を切捨てて表示している。

IV 平成 26 年度予算

収支予算書
〔 自 平成 26 年 4 月 1 日
至 平成 27 年 3 月 31 日 〕

(単位：千円)

科 目	金 額	
売上高		
賃貸料収入	898,326	
管理費収入	771,666	1,669,992
売上原価		1,491,059
売上総利益		178,933
販売費及び一般管理費		65,844
営業利益		113,089
営業外収益		
受取利息	1,300	
雑収入	1,000	2,300
営業外費用		
支払利息	26,729	
経常利益		88,660
税引前当期純利益		88,660
法人税、住民税及び事業税	37,824	
法人税等調整額	▲ 1,869	35,955
当期純利益		52,705

V 役員名簿

平成 26 年 7 月 1 日現在

役 職 名	氏 名	備 考
代表取締役会長	伊 佐 幸 雄	福岡地所(株) 常務執行役員
代表取締役社長	西 野 英 明	
専 務 取 締 役	伊 藤 博 史	
取 締 役	福 谷 和 信	北九州都心開発(株) 取締役
取 締 役	重 越 謙 二	(株)福岡銀行 北九州本部 副本部長
取 締 役	栢 野 成 起	(株)ダイエー テナント事業本部 テナント企画管理部長兼テナントリーシング部長
監査役(常勤)	園 田 耕 二	
監 査 役	橋 口 和 夫	福岡地所(株) 常務執行役員
監 査 役	平 元 猛	(株)日本政策投資銀行 九州支店 次長